

# 映像表現としての「黙過」

## イングマール・ベルイマン『処女の泉』

Jungfrukällan, The Virgin Spring; 1960

「黙過」、すなわち他者の不幸をまのあたりにしながら、見ぬふりをする。この、優れてドストエフスキー的といえる主題を、映画のジャンルはどう表現したのか？

本シネマトークでは、スウェーデンの映像作家イングマール・ベルイマンの代表作のなかから、とくに『処女の泉』(Jungfrukällan, The Virgin Spring; 1960)を選び、この作品に賭けた彼の執念と、映画制作そのものの動機の根源に光を当ててみたい。

日時 **2019年7月24日(水)**  
16:40~18:10

参加無料  
要申込み  
[先着順]

会場 名古屋外国語大学 K508教室

開催 名古屋外国語大学  
ワールドリベラルアーツセンター主催

対象 どなたでも参加できます



### スピーカー

## 亀山 郁夫

名古屋外国語大学学長。専門はロシア文学。1949年生まれ。東京外国語大学卒業、東京大学大学院博士課程中退。主著『磔のロシア』、『謎とき「悪霊」』、『ショスタコーヴィチ』、訳書ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』他。



### ■ 申込み方法

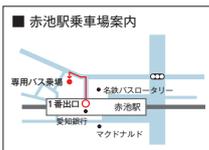
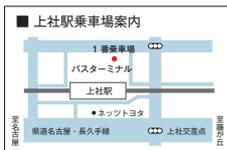
準備の都合がありますので、事前のお申込みをお願いいたします。右記のQRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込んで頂くか、下記URLをパソコン等で直接入力して、申込みのフォームに必要事項を入力、送信してください。

<https://req.qubo.jp/wlac/form/20190724>



### ■ 本学へのアクセスについて ■

当日、駐車場はありませんので公共交通機関または上社駅、赤池駅からの専用バス(無料)をご利用ください。専用バスにご乗車の際は、イベントに参加する旨を運転手にお伝えください。



### 問合せ先

名古屋外国語大学  
ワールドリベラルアーツセンター

Tel: 0561-75-2164 (直通)  
mail: [wlc\\_gg@nufs.ac.jp](mailto:wlac_gg@nufs.ac.jp)



本イベントにおける写真撮影や録音はご遠慮いただきますよう、お願い申し上げます。会場では腕章を付けたカメラマンが記録用の写真撮影を行っています。本学ウェブサイトやその他の刊行物に、写真が掲載されることがありますのでご了承ください。

※会場の温度調整が難しいため、調整しやすい服装でお越しください。